

やいちゃんはシラタガリン!!

こいのぼり

星木レイ



浄土宗コドモタイムズ

第71号

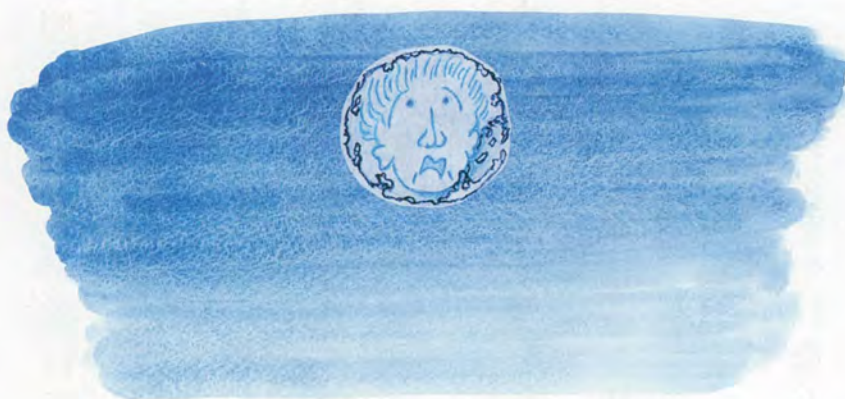
発行
浄土宗児童教化連盟

発行人
齊藤 一光
〒873-0002
大分県杵築市大字
南杵築371
正覺寺内
TEL 0978-62-3063
FAX 0978-68-8301

ひるま つき 昼間の月

詩・絵
今井 康隆

早朝の
雲ひとつない青空に
月がとどまっている
クラゲの頭のように
すけた肌が見える
昼間の月は
はつきり球体に見え
それは、やはり惑星だった
しばらくすると、月は
私の仮面のように見えてきて
みんなに見られないうちに
早く消えてほしいと思った
月から見た地球は
巨大なドツデボールか
私の好奇心という引力が
月の引力と、しばらく
引きあっているのだった



ムカデは百足^{ひゃくあし}？

星木 レイ

さとし君は近くのお寺の石垣で遊んでいました。石垣にはあちこち小さな穴があいているので、落ちていた小枝を拾って穴をつついていっていると、モゾモゾと何やら足がいつぱい生えた虫がはい出してきました。

「うわっ！ 君はだれ？」

さとし君は恐る恐る聞きました。

「ぼくはムカデだよ。百足と書くのさ」

さとし君は目を丸くして聞きました。

「へえ！ 百本も足があるの？」

「百以上あるのもいるよ」

「へえーっ。あれ？ 後ろの方の足は

ずいぶん長いね」

ムカデはうなづきながら、

「ああ、この二本は歩く時には使わな

いのさ。敵に会った時ブンブンふり回し

て、どちらが頭かわからないようにする

んだ。頭を攻撃されると弱いからね」

「ふーん、すごいな。でも君、何だか

とっても強そうだね」

「ふふっ、ぼくたちはするどい牙があ

るんだ。この牙で獲物にかみつ、毒を

注入するのさ」

「ひゃーっ、毒があるのか！」

さとし君はちよつと後ずさりしました。

「だけどぼくたちは目が見えないから

動いているものしか感じられないのさ。

だからエサはクモやミミズとかだね。動

く時はとってもすばやいよ。寒くなると

冬眠して、あたたかくなると動き出すん

だ。そうになったら君たちは気をつけた方

がいいね。うっかりさわると、すぐにか

みついて毒を刺すからね」

「えーこわいなあ」

「5月から6月、9月から10月は特に

気をつけて」

「どうしてなの？」

「春に卵をいっぱい産むんだけど、産

まれたら自分で脱皮できるまで親はエサ

を食べずにじっと子ムカデを守るんだ」

「へえー！ えらいなあ。ぼくだった

らおなががすいて、そんなことできない

よ」

「だから子ムカデが自分でエサを取れ

るようになるのが9月から10月あたりが、

親も動きだして一番あぶないのさ」

「なるほど！ この辺気をつけなくっ

ちやね」

「いやいや夜になると、家の中にも入

っていくから気をつけてね」

「ハアーツ そうなんだー！ 気をつ

けるよ」

その晩、さとし君が居間の壁にもたれ

てテレビを^みていると、何^{なに}やら腰^{こし}のあた^りりがも^もぞも^ぞしました。見^みるとズボンに、
昼^{ひる}間^ま見^みたよう^なあ^の！ 足^{あし}のい^いっぱいあ^る！ かま^{あぶ}れると危^{あぶ}ないヤツ^が！ さと^し君^{くん}が、

「キヤーツ」^{とおおごえ}と大^{おお}声^{こえ}をあ^あげ^て、そ^そばに
あ^あった新^{しん}聞^{ぶん}では^はら^らいのけ^けると、ムカデは
た^たみ^みの^の上^うに落^おち^ちま^ました。声^{こえ}を聞^ききつ^つけ
て飛^とん^んで^できたお母^{かあ}さん^がムカデを見^みつけ
ると、は^はい^いて^てスリッパ^でムカデの頭^{あたま}
を思^{おも}い切^きり^きた^たき^きま^ました。

「や^やつ^つぱ^ぱり^りムカデ^は頭^{あたま}が急^{きゅう}所^{しよ}なん^だな
あ」

とさ^ととし君^{くん}は^はつ^つく^くづ^づく^くそう思^{おも}いま^ました。



質問

亡^なくな^なった人^{ひと}とまた会^あえますか？

(埼玉 小五 女子)

答え

会^あえます。大^{たい}切^{せつ}な亡^な
く^くな^なった方^{かた}が世^せ界^{かい}に往^ゆ
く方^{ほう}法^{ほう}を考^{かん}え^えま^まし^しよう。

も^もお^お称^{とな}え^えす^すと、そ^その^{ひと}人^が自^じ
分^{ぶん}を見^み守^{まも}つ^つて^てく^くれ^れて^てい^いる^{よう}
な温^{あた}かい心^{こころ}に^にな^なり^りま^ます。

南^な無^む阿^あ弥^だ陀^{ぶつ}仏^{くち}と口^とに^とお^な称^え
す^すれ^れば、必^{かな}ず^ず極^{ごく}楽^{らく}浄^{じょう}土^どと^いう
世^せ界^{かい}に生^うま^まれ^れる^こと^がで^でき^きま^ま
す。そ^その^{ひと}人^の事^{こと}を思^{おも}つ^つて、南^な
無^む阿^あ弥^だ陀^{ぶつ}仏^{くち}と^とお^{ねん}念^{ぶつ}仏^{もう}申^{まう}し^しま^まし^し
よう。そ^そう^すれ^れば^必ず^ずい^いつ^つか、
極^{ごく}楽^{らく}浄^{じょう}土^どと^いう^ほ仏^{ぶつ}さ^まの^せ世^{かい}界^{かい}
で再^{さい}会^{かい}で^でき^きま^ます。

ま^まず^ずは^は申^{もう}す^すこ^こと。申^{もう}す^すこ^こ
で先^{さき}だ^だった^{かた}方^を身^み近^{ぢか}に^う受^うけ^け取^と
る^こと^がで^でき^きま^ます。大^{たい}切^{せつ}な^{かた}方^が
と^との^{わか}別^べれ、こ^これ^れほ^ほど^どつ^つら^らい^いこ
と^とは^はい^いで^です^すが、ち^ちゃ^ゃん^んと^とこ
の私^{わたくし}の^こ事^{こと}を見^み、声^{こえ}を聴^きき、想^{おも}
つ^つて^てく^くれ^れて^てい^いま^ます。
お^{ねん}念^{ぶつ}仏^を申^{もう}し^しま^まし^しよう。

それ^{それ}だ^だけ^けで^では^はあ^あり^りま^ませ^せん。
亡^なく^くな^なった^{かた}方^を思^{おも}い^いな^なが^がら^ら南^な
無^む阿^あ弥^だ陀^{ぶつ}仏^{くち}と^と口^にに^{なん}何^{なん}度^ども^も何^{なん}度^ど

これも仏教の言葉だよ！

頂戴



「ちょっと、それとってちょうだい」「これいいなー。これちょうだい」という「ちょうだい」という言葉。実はこれも仏教語です。

「頂戴」と書き、本来は頭の頂点に載せる（のせる）ことをいい、仏様の教え、お経を頭にのせていただくことをさします。目よりも高く、頭を低く下げていただく姿勢、卒業式に卒業証書を頂くあの姿勢と一緒にです。

元々は尊い物を頭に頂くことを指した言葉、今は簡単に使うようになりました。

しかし、物を頂戴する思いは大切です。

当たり前と思わず、すべての物をなかなか手にすること、受け取ることができない仏様の教えを受け取るように、「ありがとうございます」の気持ちをもって、大切にしないといけません。

ちがいがし

みんなよう
考えよう



絵：岡本こずえ



右の絵と左の絵の違いを5つ見つけてください。

ハガキに答えを書いて左記まで送ってください。正解者の中から抽選で30名に記念品をお送りします。記事の感想や意見もいっしょに書いてくださいね。しめきり令和5年7月20日です。

送り先

〒873-0002

大分県杵築市大字南杵築371

正覚寺内

浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0978-62-3063

FAX 0978-68-8301

前回の答え



お知らせ

◆みなさんからの記事 wait しています。学校でのこと、家の中でのこと、家族のこと、友だちのことなどを書いて送ってください。またみなさんからの作品も wait しています。絵や作文、お習字など何でもけっこうです。

◆送り先は 〒873-0002 大分県杵築市大字南杵築371 正覚寺内 浄土宗児童教化連盟事務局

TEL 0978-62-3063 FAX 0978-68-8301

感想もいっしょに書いてくださいね。

ふくふく編集室



おやじギヤグって知ってますか。中高年の男の人が言うダジャレみたいなもの

です。「ふとんがふつとんだ」「お金を取られておつかねえ」「電話にでんわ」「トイレにいつといれ」など単純なもので、回りの人はリアクションに困ることが多いです。この親父ギヤグは子供たちの発達に良い影響をもたらす可能性があることが、最近の研究でわかりました。

研究結果は、子供相手に恥ずかしい親父ギヤグを発すること、子供たちがどれだけ恥ずかしさに対応できるか、その限界を広げる可能性があり、恥ずかしいことはそれほど致命的なことではないということを教えることができる、というのです。

この研究者は、子どもたちの成長を助けるために、お父さんは大いに親父ギヤグを子供たちに言い続けましょうといっています。

親父ギヤグが良いクスリになるんですね。